

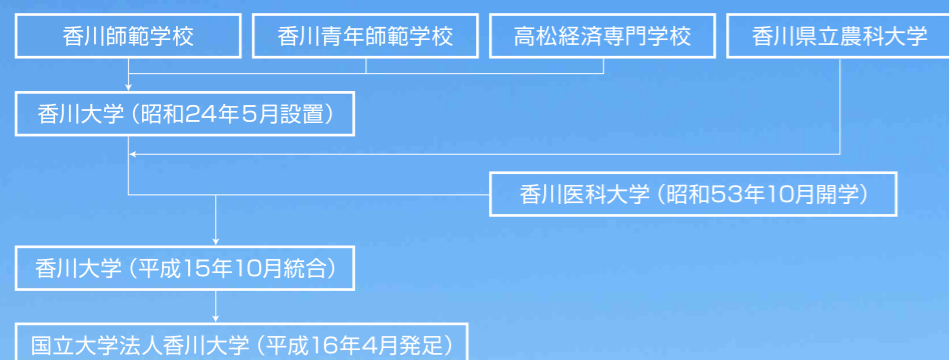
香川大学は2019年、創立70周年を迎えます。



香川師範学校・香川青年師範学校を母体とした学芸学部と、高松経済専門学校を母体とした経済学部の2学部で、旧香川大学が設立されたのが1949年(昭和24年)5月です。2019年は創立70周年目となります。本学では皆様と一緒に節目の年を迎えるべく、11月3日(日)に創立70周年記念行事として、講演会などを実施いたします。詳細が決まり次第、HPでお知らせします。

沿革

昭和 24 年 5 月	旧香川大学は、香川師範学校・香川青年師範学校を母体とした学芸学部及び高松経済専門学校を母体とした経済学部の2学部をもって発足
昭和 30 年 7 月	香川県立農科大学を国に移管し、農学部を設置
昭和 35 年 4 月	香川大学商業短期大学部を併設
昭和 41 年 4 月	香川大学学芸学部を教育学部に改称
昭和 53 年 10 月	香川医科大学開学
昭和 56 年 4 月	香川大学法学部を設置
昭和 58 年 4 月	香川医科大学医学部附属病院を設置
平成 8 年 4 月	香川医科大学医学部看護学科を設置
平成 9 年 10 月	香川大学工学部を設置
平成 15 年 10 月	旧香川大学と旧香川医科大学が統合し、新しい香川大学開学
平成 16 年 4 月	国立大学法人香川大学発足
平成 30 年 4 月	創造工学部を設置 医学部臨床心理学科を設置



香川大学から保護者の皆様へ

OLIVE 通信 ② 2019.4

保護者の皆様に、本学の教育目標の柱として掲げている「DRI教育」についてご紹介します。本学に在籍している学生は、グローバル化や人口減少が進む20年後の日本を見据えた上で、様々な知識や能力を身につけなければなりません。本学を卒業すれば専門的な知識は十分に身に付けることはできるのですが、それだけでは今後の予測不能な社会を生き抜くことは難しいのです。単なる知識だけではすぐにAIにとって代わられるでしょうし、現代社会には多くのリスクがはびこっています。そこで本学では、2040年の日本を想定して、付加価値や創造性の高い仕事に従事でき、これからの時代を生き抜く力を備え、時代をリードできる人材の育成に取り組んでおります。本学独自のDRI教育とは、新たな価値創造のための学士課程教育(DRI能力を育成すること)です。本学は、地域社会の課題解決に資する教育・研究等の実績をもとに、地域活性化の中核の拠点としての機能強化に取り組むことをビジョンとして掲げています。地域社会において新たな価値を創造できる人材が求められており、イノベーションを創出する「デザイン思考(D)」、レジリエンスやサイバーセキュリティに資する「リスクマネジメント(R)」、専門分野を超えた「インフォマティクス(I)」に係る教育が各大学に期待されています。香川県においても人口減少が進行する中、地域活力を維持・向上させるイノベーションが必要とされており、上記3つの能力を統合した「DRI能力」の育成が求められています。これを、本学ではDRI教育と呼んでいます。

他大学の動向を見ると、SDGs、すなわち国連が定める2030年までの「持続可能な開発目標」に向けて、デザイン

思考教育による課題発見・課題解決能力を育成する大学が増えています。また、2018年11月26日の中教審答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、新たな価値を創造する能力(D)に加えて、数理・データサイエンス等の基礎的な素養(I)が求められるなど、徐々にDとIの必要性が高まっています。そのような背景の中、新しい価値の創造・イノベーション創出においてもリスクがつきまとうため、その想定や管理を行うことは必須です。そのため本学では、想定されるリスクを全体的な視点かつ合理的な方法で管理できる能力(R)を加えてDRI教育としております。このD・R・Iの三要素を総合的に教育する取り組みは、全国でも本学が初めてとなります。

2019年度から、全学共通科目において新たに「はじめて学ぶDRI」を開講します。また、従来の主題科目B「課題発見・課題解決型授業」を更に実質化することにより、全学的なDRI能力の育成に努めます。次に、学習意欲の高い学生をターゲットとして「DRIイノベーター養成プログラム」を開設し、多様性理解力やチームで考える力を養います。さらに、DRI教育やアクティブ・ラーニングに関するFDを全学および各学部単位で適宜開催し、教員・職員・学生が一丸となってDRI能力の育成に取り組む環境を整備していきます。本学の卒業生が2040年の日本で、強くたくましく生き抜いてもらうことを願い、DRI教育を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

香川大学大学教育基盤センター創造教育推進部門長
石井知彦

